



行事予定

- おみがき 11月13日(月)
(報恩講を前にして本堂の仏具などを磨く奉仕活動です)
- 報恩講 11月18日(土)~19日(日)
両日とも13時30分から
- 年末本堂開放 12月27日(土)~30日(火)
- 修正会 平成30年1月7日(日)

文芸欄

川柳

山口由利子

空蟬の哀しみ一つ手にのせる
 煩惱と仲良く暮す老いの知恵
 たつぷりのスパイス効かす孫育て
 もう誰も叱つてくれぬ身の驕り

※このコーナーに、川柳・短歌・俳句などを、お寄せください。

すきまコラム

あつ き 日 かに おく な ふが での る あ せ は とぞ おか し き かな

うれ し き さ よ い は む 身 か に は そ あ で ま り ぬ つ り つ かな り

御文より

編集後記

今年も猛暑の夏でした。皆様、体調はいかがでしたか。じょうけいの第二号の発行です。今回、記事の投稿を頂きました。これからも、皆様からの投稿をおおいに歓迎しますので、よろしくお願いします。

じょうけい 第2号
 <<発行>>
 真宗大谷派 浄慶寺 大塚展彦
 浄慶寺門徒会 川嶋正實
 〒810-0063
 福岡市中央区唐人町3-10-49
 電話092-751-0517
 <<編集>>
 浄慶寺寺報担当 塩川大一

ご懇志のお願い

浄慶寺
 門徒会会長・住職

門徒の皆様のご協力のもとに、本堂及び庫裏等の再建がなりました。早や10年を経過しました。本堂の再建から10年を経て、いまだ手つかずに残っていますが、山門でございます。現在の山門は建替前の本堂と同時期に建てられたと思われます。現在の状況は屋根を支える小屋組み部分に木喰虫の跡が散見されます。又、屋根瓦は少量の葺き土が残った上に部分的に固定された不安定な状態であります。現在は瓦が落ちない様に全面にネットを被せて保護しております。

山門全体は少し傾いています。両側の塀に挟まれて何とか倒壊を免れております。山門の寺内側に補強材を入れております。寺内南側の民家との境界の煉瓦塀も昭和初期に作られた様で、民家側や寺内側に傾いて危険な状況となっております。お寺の顔となる山門が危険で開放出来ない状態でそのまま放置しては大変悲しい事だと思います。

また、10年経過した建物全体の今後の維持管理の為にも、門徒さんの増加が望まれる処であり、これから先の門徒さんの増加を図る為にもお寺の顔ともなります山門の再建は必要な事と考えます。

また、この山門の修復と併せて、永代供養墓の建設や新たな環境整備事業なども進めていきたいと考えています。

趣旨をご理解頂きまして、よろしくご協力をお願い申し上げます。

